

RICCユーザ表彰

RICC表彰の目的と概要

- RICCを用いて新しい事にチャレンジしたユーザ（課題）を表彰
 - RICCの特長を活かしたチャレンジ
 - チャレンジの結果が先端的
- 今年度は、8000coreをフルに活用した課題を表彰
 - 大規模並列実施に向けた特別利用にチャレンジした課題
 - 高い並列性能を示した課題

特別利用でのRICC高並列Job実行エントリー課題

1. 大規模並列化に適したMDコアプログラム開発

- リーダ：大野 洋介
- 所属：次世代計算科学研究開発プログラム 次世代生命体統合シミュレーション研究推進グループ
生命体基盤ソフトウェア開発・高度化チーム

2. 高並列アプリケーションプログラムの研究開発

- リーダ：南 一生
- 所属：次世代スーパーコンピュータ開発実施本部 開発グループ アプリケーション開発チーム

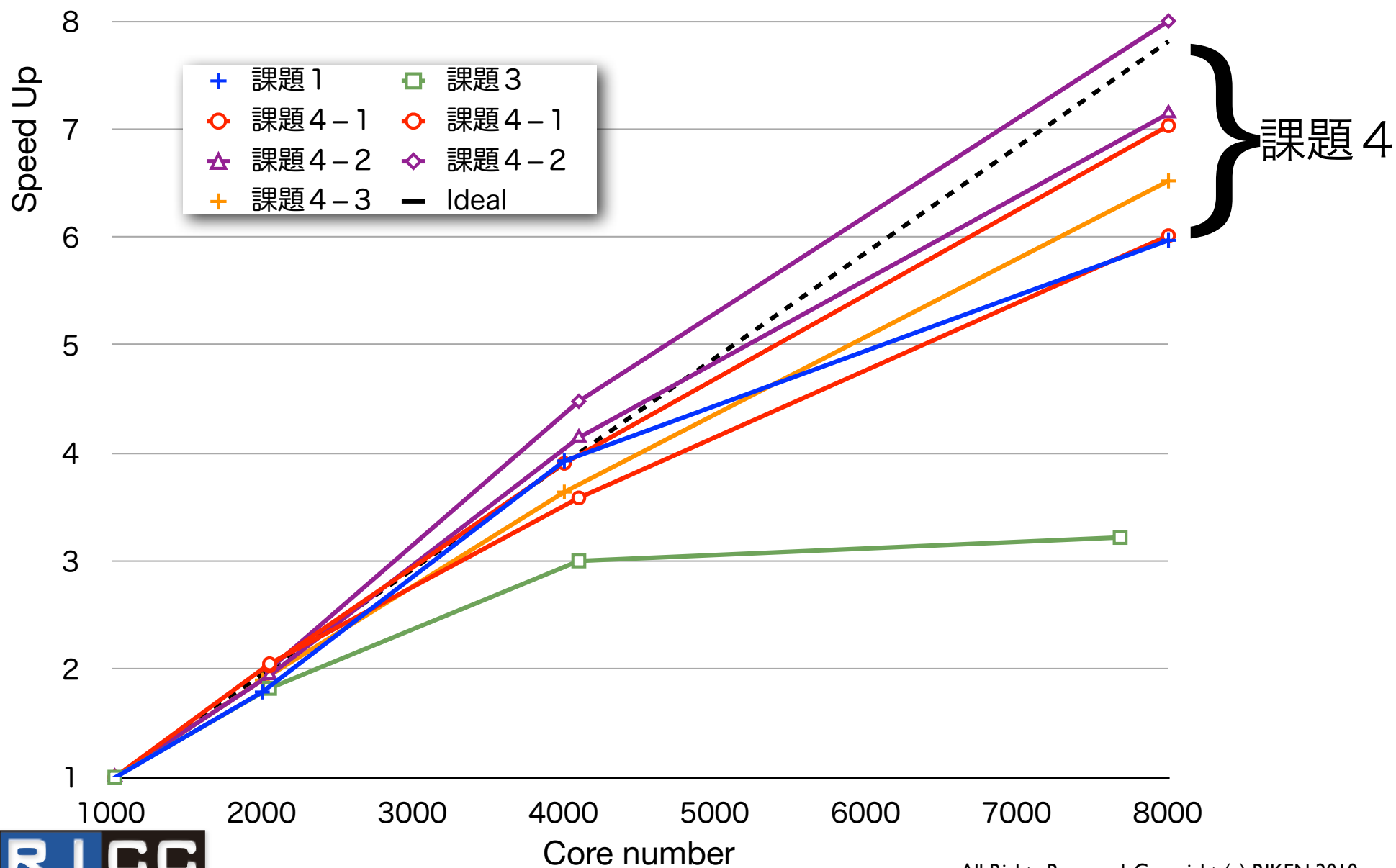
3. 生体分子粗視化シミュレーションプログラムCafeMolの動作確認と大規模並列化テストの実施

- リーダ：木寺 詔紀
- 所属：次世代計算科学研究開発プログラム 次世代生命体統合シミュレーション研究推進グループ
分子スケール研究開発チーム

4. 固体流体連成ソルバーの高並列環境でのテスト

- リーダ：高木 周
- 所属：次世代計算科学研究開発プログラム 次世代生命体統合シミュレーション研究推進グループ
臓器全身スケール研究開発チーム

Strong Scaling測定結果（課題2はWeak Scaling測定）



受賞課題：



2009年度



RI CC Cutting Edge Award

独立行政法人 理化学研究所
次世代計算科学研究開発プログラム
臓器全身スケール研究開発チーム

『固体流体連成ソルバーの高並列環境でのテスト』
課題研究グループ

貴グループはR I C Cの超並列P Cクラスタを使い切る
大規模並列アプリケーションの実行によりR I C Cの有効性
を示しました

よってここにその実績を称え表彰します

今後により一層のご活躍をされることを心より期待します

2010年3月24日

独立行政法人理化学研究所
情報基盤センター
センター長

姫野 龍太郎